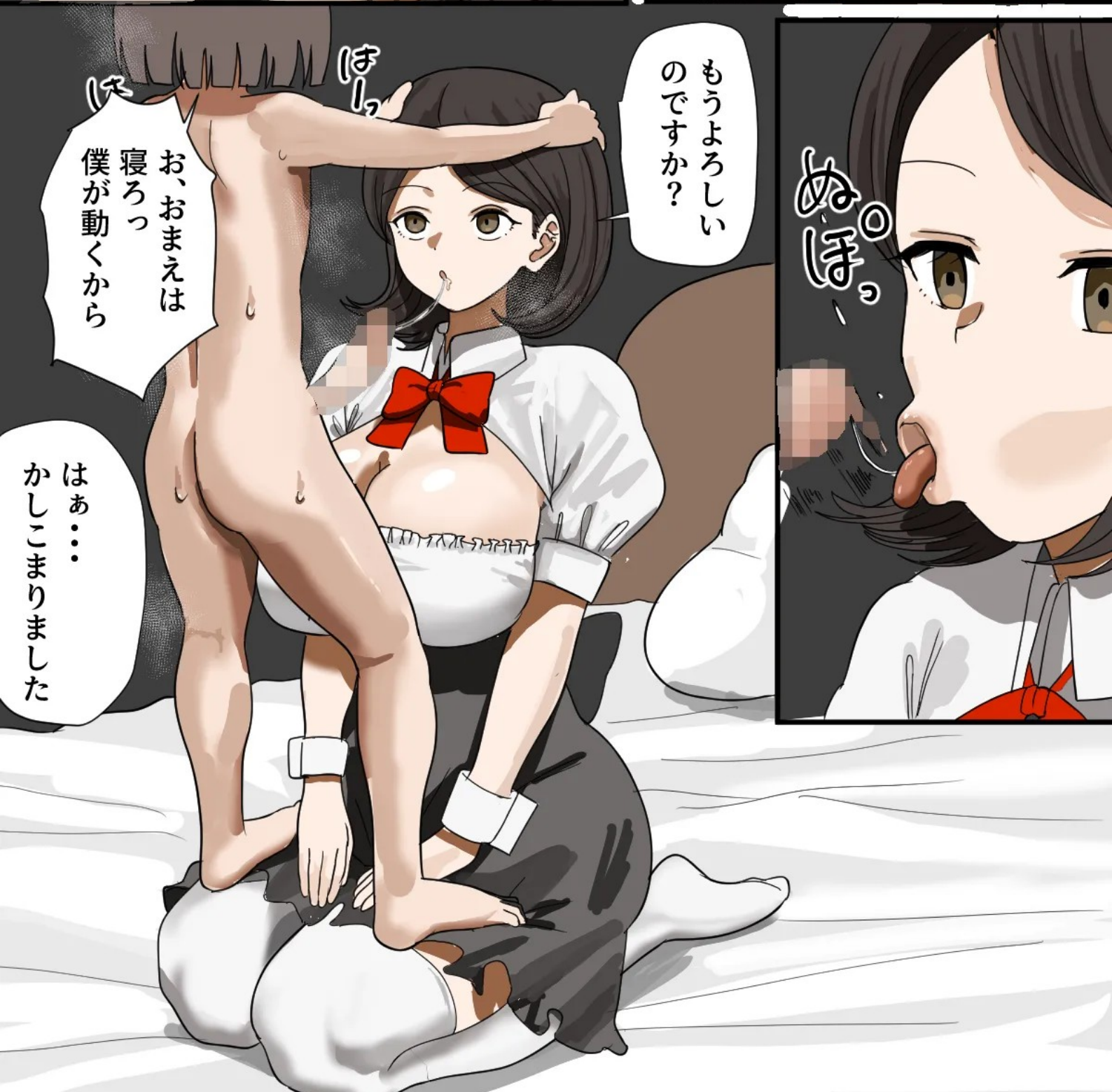
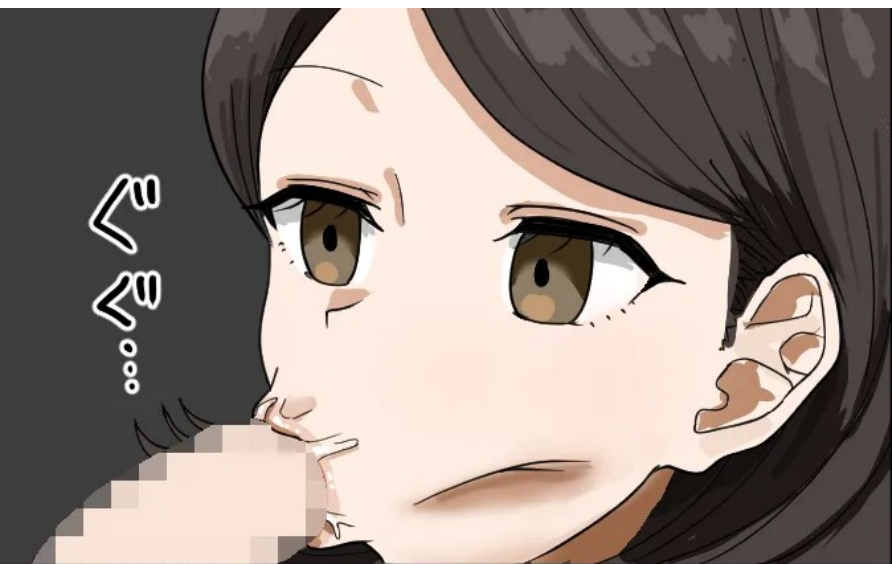
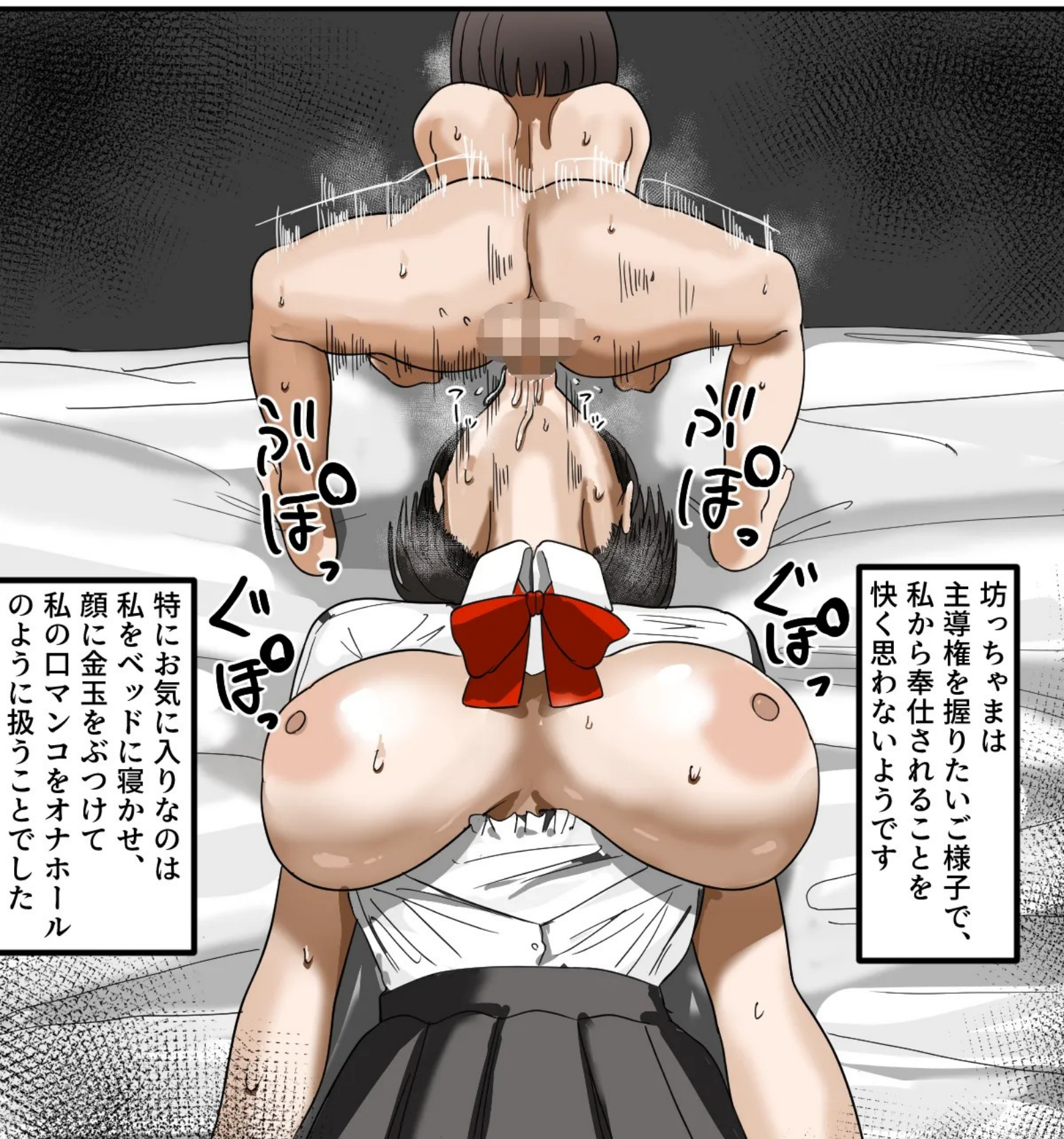
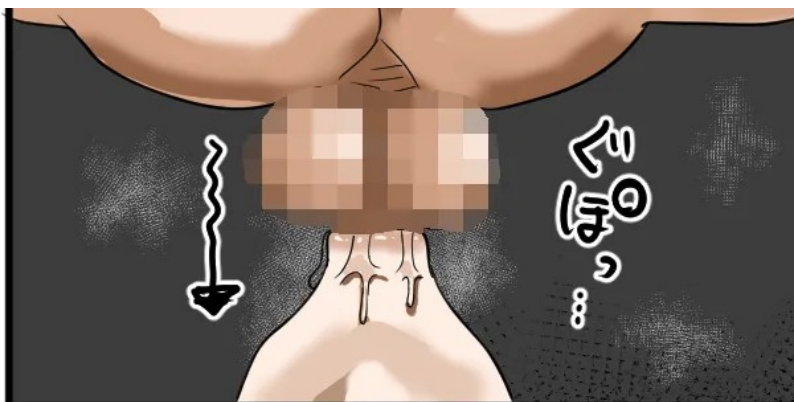




城内で横行する
坊っちゃんによるメイド達への
セクハラ防止のため
私が坊っちゃんのおちんぽ様を
射精
管理を担当することになりました

真昼間から坊っちゃんのおちんぽ様を
呼びつけられ、1日の大半を
坊っちゃんのおちんぽ様を
過ごしております。





坊っちゃんまは
主導権を握りたいご様子で、
私から奉仕されることを
快く思わないようです

特にお気に入りなのは
私をベッドに寝かせ、
顔に金玉をぶつけて
私の口マンコをオナホール
のように扱うことでした

さすがの私も顔面に
金玉を打ち付けられ続け、
精子を喉奥にぶち込まれると、
メスとしての本能が疼いて
しまいます。
しかし旦那様よりおまんこに
坊っちゃんのおちんぽ様を
いれることは許されていないので
こっそりと坊っちゃんまの精子付
おぱんつを拝借し、自慰に耽るしか
ないのでした。

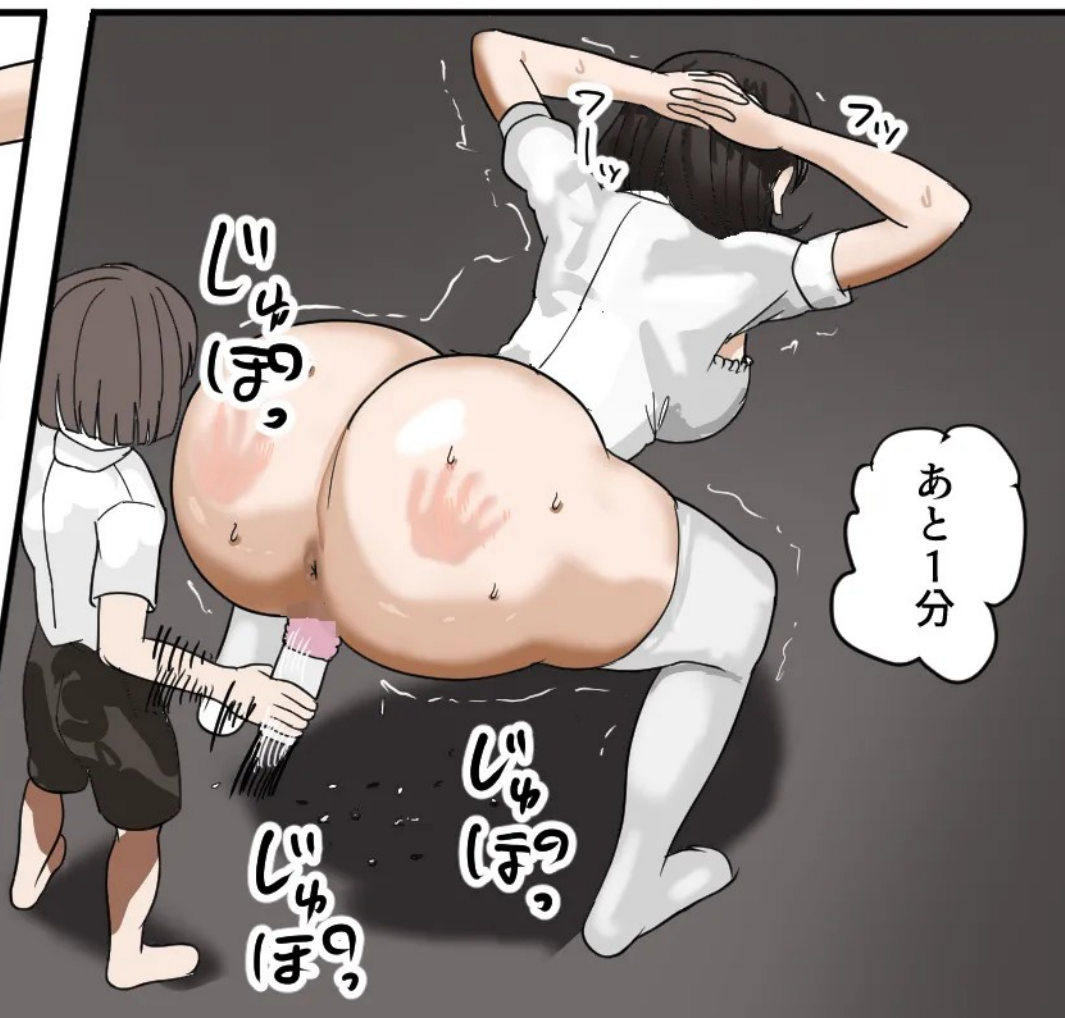
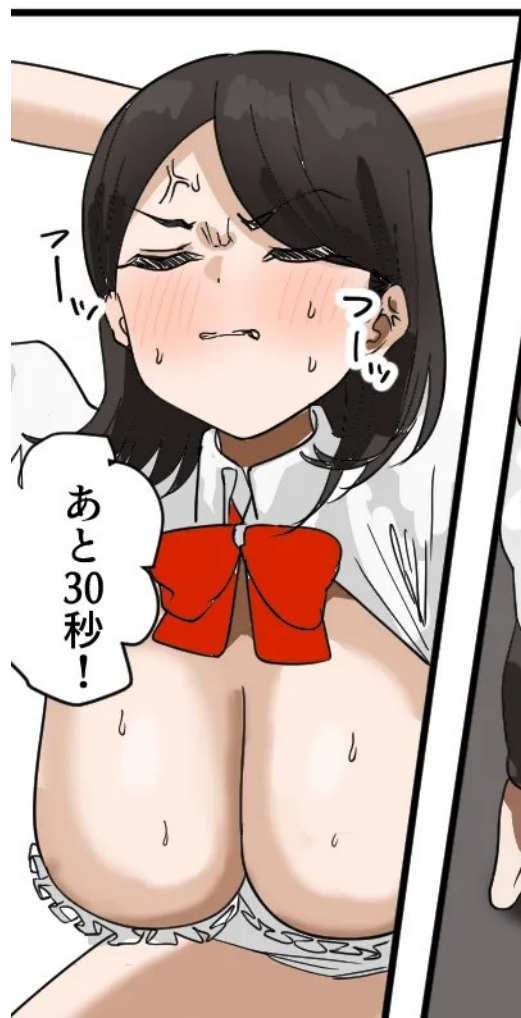


変態ガニ股ポーズを
キープし続けるよう命じられ
私は秘部を長時間ほじられ続け、
無様に絶頂してしまうのでした

近くに成人を迎えられる
坊ちゃんは、旦那様より頂いた
玩具で私のおまんこを開発
することにご執心のようです







あーあ
じゃあ今日も
お仕置きだな

まんこ使えるように
なるまでみっちり
鍛えてやるから
覚悟しろよな



